



水と緑 人のいきかう 高島市

# 広報 たかしま Takashima

2007  
11.1  
平成19年  
No.54

技が  
あ  
る  
な  
!



## ●特集 ②-⑤ 市民協働のまちづくり まちは変わる。 あなたの力で!

- 6-11 タウンピックアップ
- 12 みんなで5・7・5
- 13 市長日記・省エネ長者作戦
- 14-15 まちなタ写真館
- 16 健康生活していますか?
- 17 びょういんだより
- 18 教育委員会 information
- 19 国保年金あらかると
- 20-25 情報おしらせ版
- 26 そうだ図書館に行こう!
- 27 窓口・納税
- 28 歴史散歩

【「第5回ジュニアフットサルフェスティバル」で】

広報たかしま  
(平成19年11月1日発行)

第54号

発行/高島市 編集/企画部秘書広報課  
〒500-1-501 滋賀県高島市新旭町北畑1000-5番地 ☎0770(45)81-3130

http://www.city.takashima.shiga.jp  
E-mail: info@city.takashima.shiga.jp

高島市

# 歴史散歩

No.35

## 大溝城下町を歩く

現在の勝野地域（JR近江高島駅付近）は、昔、大溝城下町として栄えており、大きく分けると二時期ありました。

ひとつは、天正6年（1578年）に織田信長の甥にあたる信澄が、信長の命により明智光秀の縄張りである高島に築城された大溝城の城下町の時期。

もうひとつは、元和5年（1619年）、伊勢上野城（現三重県津市）の城主分部光信が近江国高島に入封して大溝陣屋（役人などの詰め所）を構えた時期です。

大溝城・大溝陣屋とともに城下町は北側に形成されました。城下町の規模は、南は勝野町から北は新町にいたる約1、280メートル、東西は東の北舟入町



▲大溝城下町割図

西町通には西町・伊勢町があり、西町の一筋西には石垣町が加わります。本町通の続きは西に屈曲して小田川を

から西は石垣町にいたる約330×440メートルで南北に細長く20の町から成り立っています。

町屋の総家数は272軒あまりで、天保9年（1838年）には1、188人。その内、男が570人、女は618人であったそうです。

城下町の構造は、南から北へのびる四筋の通りから成っており、東から本町通・中町通・西町通・石垣通となっています。また、本町通には、南から蛸燭町・南市本町・新庄本町・今市本町が連なっており、中町通には、南市中町・新庄中町・今市中町通、



西町通には西町・伊勢町があり、西町の一筋西には石垣町が加わります。本町通の続きは西に屈曲して小田川を

渡ると、また南北に新町通の今市新町・新庄新町・矢島町が続きます。つぎに東西の通りですが、本町と中町・西町の三筋の通りには、南端から職人町・紺屋町が東西にのび、本町通と中町通を結ぶ十四軒町、本町通から湖岸に北舟入町、江戸屋町・舟入町・長刀町・六軒町・欄干橋と続きます。

城下町の地名で、南市・新庄は、天正六年織田信澄が新庄城から大溝城に移った時に移されたと推測され、分部光信入封以後に、現在の形になったといえます。

今、大溝城下町を散策すると辻々に町名の道標が設置されていて、往時をしのばせてくれます。秋の一日、ぜひ大溝城下町を訪れてください。  
(文化財課)

編集後記



花の見ごろが終われば新そばももうすぐ  
(今津町日置前の「そば畑」で)

▼10月になると箱館山麓には、そばの花が一斉に開き、まるで白いじゅうたんを敷き詰めたように広がっています。これから気温が下がると、花とは対照的な真っ黒い実をつけます。新そばは、毎年11月23日に行われるそばフェスティバルにお目見えします。▼9月・10月はスポーツイベントたけなわ。今月の表紙は、10月13日（土）サンルート今津で行われた「第5回ジュニアフットサルフェスティバル in 今津」の様子をご紹介します。スポーツ少年団の保護者会がスタッフ兼サポーターのこの大会。県内はもとより、大阪、京都から18チームが参加。コートでの華麗なボールさばき、相手かわわしてシュート。とても小学生とは思えないプレーの連続に目を見張るばかり。子どもってすごいですね。私たち大人が考えているような枠なんか遙かに超えています。子どもたち無限の可能性。発揮する場を提供するのも、私たち大人の役目です。  
(広報担当)

